

専門教育科目

講義科目

授業科目名	GAFAXBATH 米中メガテック企業の戦い	科目コード	配当年次	単位
担当教員	柳田 健太	HH69	—	2

科目の概要

近年、デジタルプラットフォームと呼ばれる IT 企業の動向が、世界中のあらゆる産業やグローバル経済に多大な影響を与えている。

本科目では、代表的なプラットフォームである米国の GAFAX (Google、Apple、Facebook、Amazon) と中国の BATH (Baidu、Alibaba、Tencent、Huawei) を題材としている。それぞれの戦略を比較分析し、深く包括的に理解することで、自身の企業戦略やリーダーシップに必要な知識を学修する。

科目の到達目標

- ①米中メガテック企業8社の企業戦略を理解し、説明できる。
- ②企業8社が実践している、ITテクノロジーを活用したビジネスモデルについて説明できる。

テキスト 『GAFAXBATH 米中メガテックの競争戦略』 田中 道昭, 日本経済新聞出版社, 2019年

テキストの読み方

- ①テキストでは、GAFAX と BATH の企業8社を事業ドメインごとに分類し、1社ずつそれぞれの特徴や企業戦略について説明がなされている。しかしながら、メガテック企業の事業構造を適切な軸で比較するというのは容易なことではない。そこで、大規模な企業を網羅的に分析するためのメソッドが紹介されている。このメソッドを軸に各企業の事業構造の理解に努めてほしい。
- ②上記を踏まえた上で、メガテック企業8社の取り組みについて、多面的視点をもって思考すること。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。